

社会福祉法人 十字の園

ぶどうの木

(ヨハネ福音書 15章)

発行: (福) 十字の園法人事務局
理事長 平井 章

住所: 〒431-1304
静岡県浜松市北区細江町中川 7220-11
tel 053-414-1400
fax 053-437-1352



元気で明るいワークショップ マナ(松崎十字の園)の仲間達

『私の趣味?』

松崎十字の園 施設長 三條洋二

ぶどうの木の表紙に趣味について書くように求められたが、自分の趣味は何だろうと考えてしまった。若い頃は、写真を撮り、草ラグビーや草野球をし、映画や芝居を見たり、本を読んだりして来た。料理は、好きだが日々の生活の一部である。最近はやっていないがカスタムナイフ造りに興味を持って、ベルトグラインダーを作る事から始めて、鋼材の削り出し、鏡面仕上げ、革でシース(ナイフケースの事)を作る事までやったがそれも趣味でなく、ナイフが一本欲しかったからである。ただいろいろな事に興味を持ってやっているといつもその事に関係した人に出会い人生が豊かにされる。最近、家庭菜園を始めた。ズッキーニの花を通して隣の人と会話が弾む。



革で作ったシースです

一二三姉妹は2011年12月31日18時41分、ディアコニッセの姉妹として、静かに平安に天に召されました。

2007年3月に浜松十字の園に入居され、毎朝の施設礼拝に出席し、介護を受けながら生活を続けていました。11月ころから嚥下機能が低下し、点滴と酸素でのターミナル期に入りました。それから2か月、浜松十字の園の職員たちの人格を尊重した心のこもったケアを受けて一二三姉妹らしい生き方をされました。ベッドサイドにノートが置かれ、元職員、ご家族、現職員たちの伝言メッセージが綴られていました。また、最期まで来訪者の声に笑顔で応えて下さっていました。

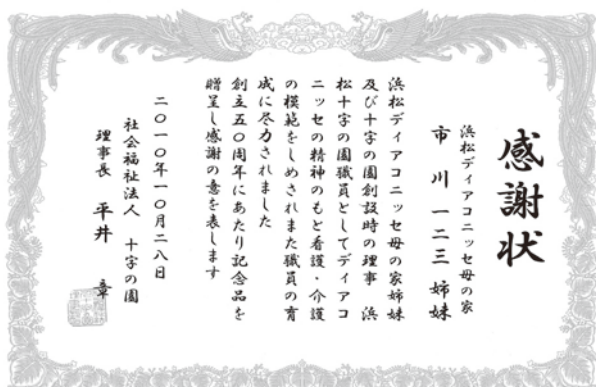
十字の園は、浜松ディアコニッセ母の家により日本で最初の特別養護老人ホームとして建てられ、2010年度12月に50周年を迎えました。制度も法律もない時代に要介護者の老人ホームを運営するという大変な時期を、母の家の姉妹たちの献身的なご奉仕により支えられました。尽くせない感謝の思いで一杯です。

ディアコニッセは家を離れ、苗字を捨て神に献身することから、一二三姉妹のご家族のことは知りませんでした。甥や姪の方とお会いして、ご家族をとっても大切にしていた一面を伺いました。



30周年記念誌に「神様の栄光大事」と題して、ハニ姉妹から教えられた言葉を用いて「十字の園は伝道と奉仕の団体です。この団体は、いろいろ違った形で生活する人達を、信仰と奉仕の交わりによって結びます。また、十字の園の使命は、『伝道：主イエスに召された愛の業を通して、世界の困難の中にある人々に福音を伝えたい』、『ディアコニー（仕える）：主イエスの愛と憐みによって、主イエス御自身の仕えることを戴き、たいへん感謝です。私たち、この愛と憐みを困難の中にある人々に与えたい』の二つです。神さまのお導きと、祈りによって生まれた十字の園。どうか十字の園が、栄光を神に帰する群れでありますように。朝ごとに聖言を聴き、聖言の確かさに導かれ励まされて、神様のみ旨にそった歩みがなされますように。十字の園の上に、神様の御祝福をお祈りいたします。」と記されていました。

「十字の園老人ホームが出来るまで」に登場する難波千鳥さん、鈴木まつさんも一二三姉妹の前後に召天されました。天国で十字の園のお話をどのように伝えられていることでしょう。



一二三姉妹は1983年に退職していますので共に働いた現職員は数名しかいませんが、厳しさと優しさと思いやりのある人柄に触れた職員は大勢います。

「創立の精神から新しい福祉への挑戦」

十字の園 監事（三方原スクエア施設長） 山崎 陽司

（福）十字の園の監事に就任してから約6年になります。監事の役割というと会計監査が主な仕事と思われていますが、それぞれの事業が法人の理念の基で、正しく執行されているかを確認することも大切な役割なのです。

ハニ・ウォルフ姉妹は十字の園の創設の時に、「神様の力の大きさをやりたい。みんなキリストの十字架のもとで一つになって働く団体にしたい」と述べ、神様に「あなたが礎になってください」と祈りました。初代理事長である鈴木生二氏は「何事も愛をもって行いなさい」「今、私の前にいるその人のすべてを大切にします」を理念の言葉としていました。2代理事長の綿鍋義典氏は、「人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります」と語ります。3代理事長の森本節夫氏は、創設からの理念の継承をご自分の任務と考え、「原点に立ち返っての福祉の創造」と「イエスキリストの他には土台は据えられません」と述べています。4代理事長の平井章氏は、一人ひとりを大切にしたい普通の暮らしを実現するためにユニットケアを確立し、「流れ作業的なケアから生活を共にするケア」「見るケアから関わるケア」を宣言しました。

十字の園の各事業が、何事も土台をキリスト教の精神とし、主の祝福の中で、主の栄光のために、時代に求められる福祉に挑戦していくことが実際に行われているのでしょうか。50年の歴史の中で育てられてきた十字の園の精神が継承されているのでしょうか。ここを監査の重点目標にしたいと思っています。



日本キリスト教社会事業同盟（社事同）

“行って、見て、知ろう、応援ツアー”に参加して

理事長 平井 章

社事同の総会・研修会が仙台で開催されました。震災から1年3か月。仙台駅周辺では普通の生活が営まれているように見えました。この研修の一環として企画された“応援ツアー”に参加して被災地を視察してきました。

ツアーは石巻山城町教会での祈祷会から始まりました。一年前に震災の傷跡にショックを受けた石巻港周辺では、店舗が増え復興への兆しを感じました。CLCが受託運営する石巻・開成団地の集会所「より処あがらいん」では、高齢者と職員の笑顔に出会いました。南三陸さんさん商店街での買い物も支援の一つです。そこで“語りべ”の方が、震災写真を見ながら、南三陸町は62%、3299世帯が津波により消失し、多くの尊い命が失われたこと、自らも家が流され、兄夫婦も逃げ遅れて亡くなったことなど涙ながらに生々しく話してくれました。職員を派遣して関わりのあった特養春圃苑では、要介護被災者を受け入れて奮闘した貴重な話をお聞きしました。また、ツアーの車中では、同行してくださった仙台を拠点に支援している川上直哉牧師（東北ヘルプ）、田村洋介氏（CLC職員）から、これからの復興への道を含めて様々なお話を伺うことができました。

「つなごう明日へ」をテーマに、十字の園として、地域と教会、社事同の会員との協働した復興支援プランを作り行動したいと思います。



2011(平成23)年度 決算報告

財産目録

資産・負債の内訳		金額
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	手持現金	1,035,255,184
未収金	静岡銀行他	87,508
未収補助金	静岡銀行他	465,082,293
立替金	静岡銀行他	90,203,526
前払金	(介護報酬他)	476,816,198
	利用者立て替え	22,813
	建物保険料他	2,083,265
	(棚卸残高)	537,029
	ワークショップマナ	180,750
	ワークショップマナ	241,802
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
土地	(31筆 53,634.99㎡)	4,258,676,835
建物	(11棟 26,218.11㎡)	727,573,266
		3,531,103,569
(2) その他の固定資産		
土地		89,671,700
建物	(倉庫・物置)	20,804,097
構築物	(門扉・陸橋等)	70,938,970
車両運搬具		13,880,662
器具及び備品		115,753,071
権利	(松崎温泉利用権)	3,327,615
他会計区分長期貸付金	(伊東市看護老人ホーム会計)	110,500,000
施設整備等積立預金		152,000,000
修繕積立預金		29,674,000
人件費積立預金		7,500,000
管理費積立預金	(ケアハウス入居一時金)	4,000,000
退職共済預け金	(退職共済積立金)	114,862,000
長期預け金		42,942,662
福利厚生資金預け金		220,500
		3,622,500
資産の部 合計		6,070,029,796
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	(業者支払い他)	100,300,700
預り金	(所得税他)	90,901,788
		9,398,912
2. 固定負債		
設備資金借入金	独立行政法人福祉医療機構 7口	2,049,955,662
設備資金借入金	静岡銀行 2口	1,488,675,000
他会計区分長期借入金	(伊東市看護老人ホーム会計)	292,976,000
退職給与引当金	静岡県退職共済	110,500,000
長期預り金	ケアハウス入居一括徴収金	42,942,662
		114,862,000
負債の部 合計		2,150,256,362
差引純資産		3,919,773,434

一般会計貸借対照表

資産の部		負債の部	
流動資産	983,539	流動負債	96,383
現金預金	516,174	未払金	86,984
未収金	465,259	預り金	9,399
未収補助金	0		
立替金	23		
前払金	2,083		
固定資産	5,025,933	固定負債	2,048,598
基本財産	4,258,676	設備資金借入金	1,781,651
土地	727,573	他会計区分長期借入金	110,500
建物	3,531,103	長期預り金	114,862
その他の固定資産	767,257	退職給与引当金	41,585
土地	89,672		
建物	20,804		
構築物	70,939		
車両運搬具	11,659		
器具及び備品	110,890		
権利	3,328		
他会計区分長期貸付金	110,500		
施設整備等積立預金	152,000		
修繕積立預金	29,674		
管理費積立預金	114,862		
人件費積立預金	7,500		
退職共済預け金	41,585		
福利厚生資金預け金	3,623		
長期預け金	221		
資産の部 合計	6,009,472	負債・純資産の部 合計	6,009,472

特別会計貸借対照表

資産の部		負債の部	
流動資産	51,716	流動負債	3,918
現金預金	39,199	未払金	3,918
未収金	11,557		
貯蔵品(薬品)	537		
仕掛品	181		
原材料	242		
固定資産	8,442		
車両運搬具	2,222		
器具及び備品	4,863		
退職共済預け金	1,357		
その他の固定資産	0		
資産の部 合計	60,158	負債・純資産の部 合計	60,158

一般会計事業活動収支計算書

(単位:千円)

勘定科目	決算額
介護保険収入	3,025,290
国庫補助金等特別積立金取崩額	107,237
事業活動収入計	3,132,527
人件費	2,172,163
経費	705,632
(直接介護費)	429,460
(一般管理費)	276,172
利用者負担減免額	5,068
減価償却費	234,922
徴収不能額	118
引当金繰入	6,467
事業活動支出計	3,124,370
借入金利息補助金収入	2,469
受取利息配当金収入	202
寄附金収入	12,365
その他の事業活動外収入	14,968
雑収入	11,858
事業活動外収入計	41,862
借入金利息	17,767
その他の事業活動外支出	11,656
雑損出	641
事業活動外支出計	30,064
経常収支差額	19,955
施設整備等補助金収入	30,209
施設整備等寄付金収入	0
固定資産受贈額	0
固定資産売却益	78,996
他会計区分繰入金収入	164,816
会計区分外繰入金収入	9,460
その他の特別収入	1,812
特別収入計	285,193
基本金組入額	0
国庫補助金等特別積立金繰入額	29,911
固定資産除売却損	224,840
他会計区分繰入金支出	164,816
その他の特別支出	6,028
特別支出計	425,595
特別収支差額	△140,402
当期活動収支差額	△120,447
前期繰越活動収支差額	989,044
積立金取崩・積立額	△40,402
次期繰越活動収支差額	828,195

特別会計(就労支援)事業活動収支計算書

(単位:千円)

勘定科目	決算額
就労支援事業活動収入	11,261
福祉事業活動収入	38,682
事業活動外収入	1
特別収入	2,224
事業活動収入計	52,168
就労支援事業活動支出	11,591
福祉事業活動支出	36,893
事業活動外支出	0
特別支出	1,869
事業活動支出計	50,353
当期活動収支差額	1,815
前期繰越活動収支差額	18,189
積立金取崩・積立額	△400
次期繰越活動収支差額	19,604

特別会計(診療所)事業活動収支計算書

(単位:千円)

勘定科目	決算額
診療収入	21,940
診療外収入	1,503
受取利息配当金収入	8
雑収入	1,046
事業活動収入計	24,497
事務費支出	5,898
診療支出	6,061
繰入金支出	9,460
減価償却費	175
事業活動支出計	21,594
当期活動収支差額	2,903
前期繰越活動収支差額	29,388
次期繰越活動収支差額	32,291

各施設からの事業報告

● 浜松十字の園

施設長 山本 隆弘

「夕暮れになっても光がある」の理念を具体化するための行動指針「サービス基準指針」を全職員が分担して全面的に見直すと共に、リーダー及び管理監督者向けに人財育成を主眼とした研修を開設しノウハウを学びました。また、行政や教育機関と共に地域向けの介護者教室や研究に協力し、私たちが有する知識や技術を幅広く地域へ還元しました。地域との連携が重要視されるため、今後も積極的に取り組みます。老朽化した建物の改修について、行政等と協議を重ねました。今後の高齢者福祉施策も視野に入れ、新年度も継続して検討を進めます。

● 伊豆高原十字の園

次長 重永 仁美

2011年4月16日、旧施設から新施設へと移りました。特に施設では生活も環境も一変し、いかに「その人が望む、普通の生活に近づけられるか」を考える年になりました。1日の始まりはご飯の炊ける匂いからです。朝食は自分の食器で7時～10時と様々です。お風呂は早い時間でも遅い時間でもその日になって考えます。夜は見たいテレビがあれば夜中まで起きています。もちろん翌朝は寝坊して遅い朝飯です。

「一人ひとりに合った生活」を支援するということは「普通の生活」を支えるという事ですが、試行錯誤の一年となりました。

● 松崎十字の園

施設長 三條 洋二

伊豆半島の西海岸にある松崎の地に、施設を開設して10年が経ちました。振り返るといろいろな事がありながらも一つ一つが神様に守られながらの歩みであった事を感じています。感謝です。昨年度2月に法人の業務監査があり、新しい監事により、働く職場、生活する環境、施設長の役割と責任について多くの指摘がなされました。今までこれで良いと思って行っていた事に対して、より改善をすべきであるとの励ましを頂きました。感謝であります。これからも利用者の安心・安全を心に留めながら神に感謝しながら歩みたいと考えています。

● 第2アドナイ館

施設長 鈴木 淳司

昨年度は、新施設長のもと新たなスタートの年でした。介護力アップを目指し、毎月の標語を作り取り組みました。家族に担当者から手紙を出し、お互いに顔の見える関係を作りました。口のリハビリ強化の為、歯科衛生士の資格を持つ職員が週2回ケアに入る様になりました。入居者と職員の関係が良くなり、手を出しすぎずにケアが整えられてきています。定員割れが2ヶ月あり、地域の皆様に魅力をお伝えしていく事が課題です。

● 御殿場十字の園

施設長 宮島 克利

2011年度は、施設開設40周年の節目にあたりいくつかの取組みを行いました。

認知症予防をテーマとした市民公開講座の開催、開設当初からの歩みをまとめた写真や資料などの展示、利用者作品展、介護用品の展示会、介護相談会の開催などです。それら記念事業として全職員が参加し、改めて地域の方々や関係者の方々への感謝の気持ちや開設時の想いや理念等について理解を深めました。

● アドナイ館

施設長 上野 貢一

法人の聖句「夕暮れになっても光がある」を掲げ、定款第1条目的「キリスト教主義の精神に立って」礼拝を整え、事業内容の充実を図った。昨年度は、特に在宅介護者の支援に取り組みました。

3/11に起こった東日本大震災の復興支援で順次6名の職員を派遣し、県高齢者研究大会ではデイの事例発表を行ないました。区民公開講座を開催し23名の参加者がありました。東側屋外汚水管補修、食堂厨房空調等工事、ドマー・バイオステップ等リハビリ機器を購入し、利用者へのサービスの充実に努めました。

● 伊東市立養護老人ホーム 平和の杜

施設長 森 茂廣

- セーフティネットとして、年間延1,000名を超える緊急な事情の方々を、無条件で受入ることができました。
- 介護保険事業の着実な成長で、新たな展望を開き、通所介護事業の定数を10名から15名に変更しました。
- 各種委員会活動の活性化で、広報紙の定期発行、月例研修の実行、リハビリの実施等の成果がありました。
- 東日本大震災の復興支援活動に、平和の杜として10名延220日派遣し、CLCとの連携に努めました。

● 法人事務局

事務局長 鈴木 新

2011年度は、4月に十字の園の理念を継承していくために、創立50周年記念DVDを全職員、関係者に配布しました。

3月末に事務所を浜松十字の園に移転し、4月から理事長と事務局長を専任とする法人事務局体制を開始しました。従来の常務理事・施設長会議を、理事長専決事項を検証・承認する法人管理会議に改め、法人組織を再構築しました。東日本大震災の復興支援に法人内外の協力を得て、職員を50名延547日被災地へ派遣しました。

『今日も元気な声が聞こえてきます!!』 ヘルパーステーションほそえ 村松孝枝



根洗荘

り根洗荘をご利用される皆様の賑やかな歌声や笑い声にパソコンを打つ手も軽やかになります。根洗荘では毎日20名位の利用者様がカラオケやおしゃべり、ゲーム、



元気いっぱい体操

外出、買物、ドライブなど楽しい時間を過ごされております。利用者様の中には「根洗荘に来ると皆、元気なので自分も同じように元気で頑張ろう!という気持ちになれる」と言って下さる方も大勢おられ、毎日通って来られる方もいらっしゃいます。まだまだ実現には遠いですが、時間が空いた時には私たちもドライブに参加させて頂いたりして交流をはかりたいと思っています。



はたけで白菜作り

が、時間が空いた時には私たちもドライブに参加させて頂いたりして交流をはかりたいと思っています。

『笑いの絶えない庭に』

第2アドナイ館 山村葉子

去年は、月2回行われている絵画教室にて、描いたり貼ったりして入居者合作による「ひまわり」「タンポポ」の花を咲かせました。この作品は、他施設の方々の品と一緒に「宝石箱展」に出展しました。



今年度は、見て触れ、匂いを感じられるようにと庭を広げて花畑を作ろうと入居者・職員（施設長が一番はりきっていますが〈笑〉）一丸となって取り組んでいます。



「ブランコを置きたい。」「あづまやを作りたい」等色々な意見

が出て、夢は膨らみます。

第2アドナイ館今年度目標「安心して暮らし続けるための介護力アップと地域のつながりを持てる機会を増やします。」に掲げられているように近くの保育園児が遊びに来たり、散歩されている方々の憩いの場になり、交流が広がればと思います。



『細江デイサービスセンターのスタッフ紹介です。』（介護編）アドナイ館 三木 義史

今年で開所20年目を迎えます。利用される方にとって、必要とされるデイサービスセンターを目指しています。細江デイサービスセンターの誇れる、仕事も芸も出来るスタッフです。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 一番幸せを感じる瞬間は？ | 2. 生まれ変わるなら何になりたい？ |
| 3. 人生で一回はやってみたい事は？ | 4. 老後は何をしている？ |



三木 義史
(主任)

1. 昼寝ができる時
2. 風
3. 自分の車で日本一周
4. 孫と遊んでいる



横山 昌子

1. 家族と笑顔に包まれる時
2. 喜怒哀楽の感受性の高い人間
3. 大雅仙紙に書の大作を完成させる事
4. 年1回以上旅行に行く



大石利恵子
(リーダー)

1. 家族の笑顔に囲まれた穏やかな時
2. 歌って踊れる看護師
3. 豪華客船で世界一周の旅
4. 時々遊びに来る娘とのんびりお茶を楽しんでいる



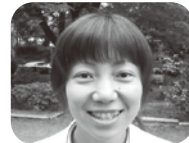
市川 佳子

1. 自然の中で美味しいものを食べている時
2. 登山家
3. スキューバダイビング
4. かわいいおばあさんになって、縁側でお昼寝



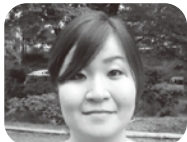
岩崎 誠

1. 知らない事を知った時
2. 特に考えていない
3. 日本各地を渡り歩く
4. 晴耕雨読



川端 美香

1. 日々の生活・・・
2. 鳥
3. ラクダに乗りたい
4. のんびり、ゆっくり生活を楽しんでいる



平野香織里

1. 友達・家族・・・大切な人と過ごしている時
2. 花
3. マチュピチュに行きたい
4. 縁側に座ってひなたぼっこ



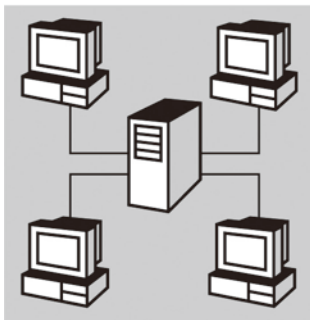
吉川 由美

1. いつも、今、この瞬間
2. また自分になりたい
3. 五街道を連続性を持って、歩いて踏破してみたい
4. 質朴に生きていたい

『新しい取組み』

法人事務局 豊田くみ子

法人事務局では、2011年3月末に事務所を第2アドナイ館から浜松十字の園の旧・理事長室に移転しました。4月から、理事長と専任の事務局長による法人事務局体制で活動を始めました。2011年度には、法人監事の交代もありました。



2012年度十字の園では、財務の新しい取組み・挑戦として、新会計基準を導入することとなりました。制度上では3年間の移行期間がありますが、理事長の一声でどの法人よりも先に導入する運びとなりました。各施設の事務長・財務担当者の皆さんとは、法人事務部会を開き、細かな意見を出し合いスムーズな移行に努力しています。

今後は、事務局に設置された経理財務専用のサーバー機で各施設の事業会計が一元化されるので、経営分析などに向けた活用が行い易くなることに期待しています。

事務局では、新しい機械の設置でますます事務所が狭くなってしまいました。一方、各施設にも経理財務専用のパソコンがネットワークで繋がっているので、画面の向こうの各施設の皆さんをより近くに感じています。

2012(平成24)年度 新規採用者

4月1日の辞令交付式で十字の園に新しい仲間が加わりました。



☆浜松十字の園：8名

(介護士)志村美沙・田力香織
太田早千穂・佐藤真由美
榊原竹穂・山村静江
内藤景子

(看護師)鈴井千佳代

☆御殿場十字の園：8名

(介護士)田代日香里・和田美和子
高谷繁・中島渉
築地紋子・武山幸浩

(看護師)小松直樹

(居宅介護支援専門員)加藤智美

☆伊豆高原十字の園：6名

(生活支援員)石井里奈・柴崎美穂子
重永裕理・山本茜

(看護師)大川陽子・岩井みか



☆松崎十字の園：5名

(介護士)内山伶華・高橋優友・島田恵里・中里さやか・肥后順司

☆アドナイ館：2名

(介護士)平野香織里・(調理師)井ノ口共信

☆伊東市立養護老人ホーム：1名

(調理師)久保田夢美

計30名(辞令交付式には20名が出席しました)

温かいご支援をありがとうございます!



2011年度も多くの皆様からこころ温まるご支援とご寄付を賜り誠にありがとうございました。皆様方から寄せられたご寄付は、より良い施設づくりのための施設整備及び備品購入にあてさせていただきます。

今後とも、福祉共生社会の成熟に貢献しつつ、皆様の声に適切に応える施設として活動する十字の園へのご支援を宜しく御願い致します。

法人事務局	55件	1,472,402円
浜松十字の園	68件	3,847,500円
御殿場十字の園	99件	1,486,406円
伊豆高原十字の園	61件	1,288,765円
松崎十字の園	17件	1,546,000円
アドナイ館	128件	1,670,413円
御殿場アドナイ館	4件	60,595円
オリブ・マナ	2件	12,000円
伊東市立養護老人ホーム平和の杜	23件	727,600円
第2アドナイ館	22件	265,000円
合計	479件	12,376,681円

復興支援募金継続中 ご協力を!!
皆様の温かい御支援をお待ちしております!!

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 7220-11
社会福祉法人 十字の園
理事長 平井章
銀行振替 静岡銀行細江支店 普通 0015345

あ と
が き

「さえずりや 川あをあとと合流す」、春の松崎を詠んだ私の叔母の句です。生命と自然の躍動感と、ゆったりとした時間が伝わり、素人の私もいい句と思う。そんな新緑と山桜の白が淡く彩る山肌も、墨を落としたかのような深い緑に変わり、7月の松崎は、地も海も、いよいよ呼吸しているかのような力強さで、こちらに迫って来るのを感じます。そして私は竿を手に玄関を出るのです。

松崎十字の園も開園から10年過ぎました。支えて下さった多くの方々に感謝です。

(馬場)